

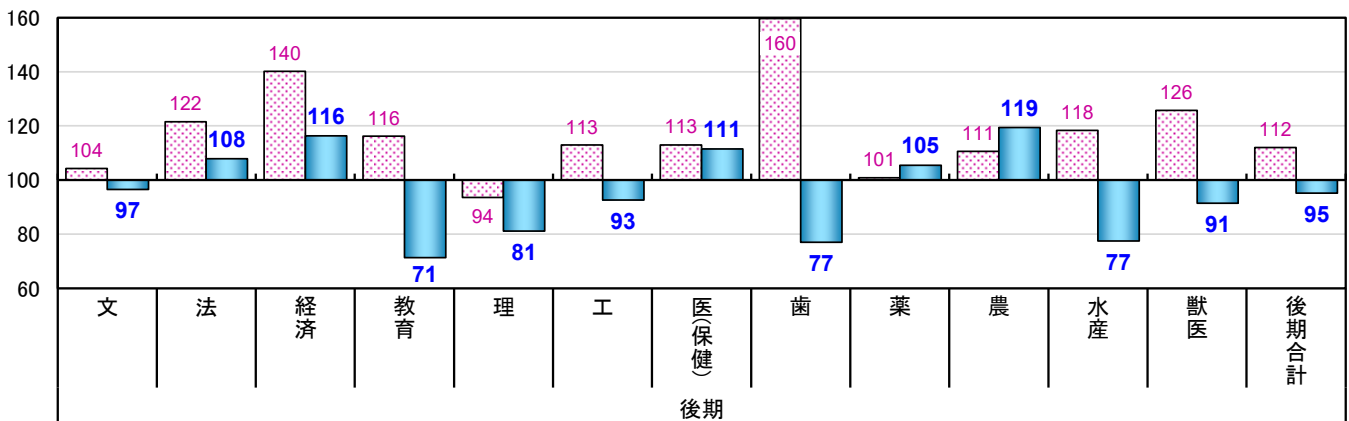
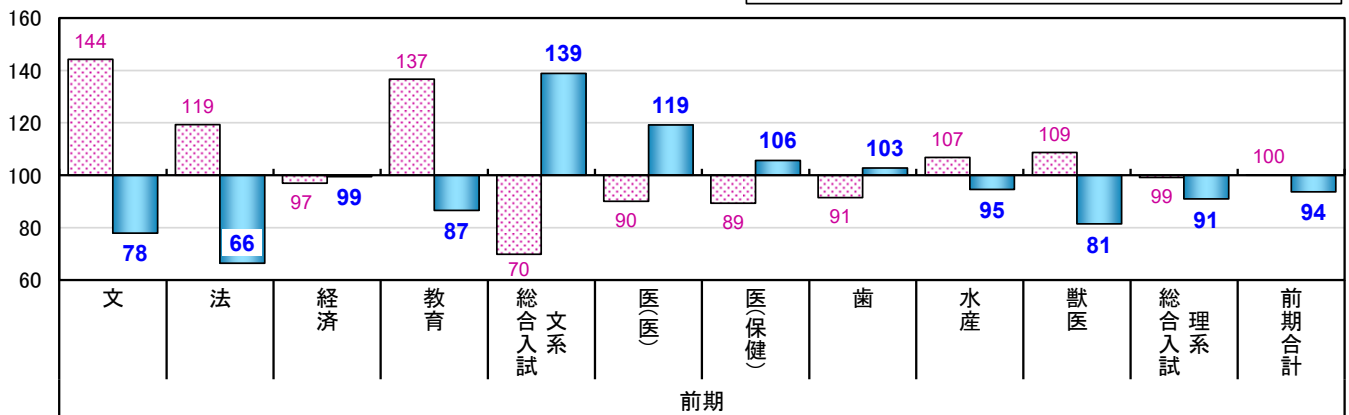
2020年度入試状況分析【国公立大】

北海道大：前期はやや減少、文、法、獣医が大幅減少

前期：-369人 後期：-220人

※前年度の志願者数を100とする指数

□2019年度/2018年度 □2020年度/2019年度



入試変更点 募集人員：〈A O〉および〈国際総合〉の合格者数が募集人員に満たなかった欠員分追加(2020年2月17日発表)
 工(環境社会工)〈後〉…49人→53人、工(応用理工系)〈後〉…34人→37人
 医(医)〈前〉…97人→102人、歯〈前〉…30人→32人、水産〈前〉…105人→111人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は369人(94)のやや減少。文理別では、文系は146人(91)の減少、理系は223人(95)のやや減少だった。前期では2段階選抜は実施されなかった。後期は220人(95)のやや減少。文理別では、文系は22人(102)の微増、理系は2年連続増加の反動で242人(93)のやや減少。

〈前期日程〉

- 文(78)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少、2015年度以降、前年度の反動による増減が続いている。志願倍率も3.9倍→3.1倍にダウン。
- 法(66)は、前年度大幅増加で2年連続増加だった反動で大幅減少。志願倍率も3.00倍→1.99倍と2倍を下回った。
- 経済(99)は、微減だが2年連続減少。
- 教育(87)は、前年度大幅増加の反動で減少。2015年度以降、前年度の反動による増減が続いている。
- 総合入試文系(139)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 総合入試理系(91)は、2年連続減少。選抜群別では、(化学重点)(103)のみやや増加だが、他の4つの選抜群は減少。特に、(総合科学)(79)、(数学重点)(82)は大幅減少。
- 医(医)(119)は大幅増加で、志願倍率も2016年度以来の高倍率となった。
- 医(保健)(106)は、前年度減少の反動でやや増加。2016年度以降、前年度の反動による増減が続いている。専攻別では、(保健/放射線技術科学)(152)、(保健/検査技術科学)(132)が大幅増加、一方で(保健/作業療法)(50)は半減した。
- 歯(103)は、やや増加で3年ぶりに増加。
- 水産(95)は、2年連続増加の反動でやや減少。
- 獣医(81)は、2年連続増加の反動で大幅減少。

2020 年度入試状況分析【国公立大】

<後期日程>

- 文(97)は、前年度やや増加の反動から、やや減少した。
- 法(108)は、前年度大幅増加の反動はなく、さらに増加。志願倍率も10.2倍→11.0倍にアップ。
- 経済(116)は、前年度の大幅増加の反動はなく、さらに大幅増加。志願倍率も11.0倍→12.8倍にアップ。
- 教育(71)は、前年度の大幅増加の反動から大幅減少。志願倍率も12.2倍→8.7倍にダウン。
- 理(81)は、前年度減少の反動はなく大幅減少で2年連続減少。学科・分野別では、(地球惑星科学)(100)が前年度と同人数で、これ以外の学科・分野は減少で、特に(化学)(69)、(生物科学/生物学)(74)、(数学)(82)の大幅減少が目立った。
- 工(93)は前年度増加の反動でやや減少。学科・分野別では、全学科が減少で機械知能工(88)の減少が目立った。
- 医(保健)(111)は、前年度増加の反動はなく2年連続増加。専攻別では、(保健/放射線技術科学)(168)は大幅増加だが、他の2専攻は減少。
- 歯(77)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も21.8倍→16.8倍にダウン。
- 薬(105)は、やや増加で3年連続増加。
- 農(119)は、前年度増加に引き続いて大幅増加で、2年連続増加。志願倍率も7.7倍→9.2倍にアップ。
- 水産(77)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 獣医(91)は、前年度大幅増加の反動で減少。